

平成24年度の進め方について

福井県 環境政策課

【平成24年度の進め方】

テーマごとにWGを設置して、スマコミ構想に掲げる6つの“基本方針”を推進

6つの基本方針	年度当初から始動するWG	WGの立上げを検討する分野
1 エネルギーロスの少ない豊かな暮らしと賑わいの創出	<p>進捗確認WG 県、高浜町、おおい町、福大、関電</p> <p>スマート暮らしWG 県、高浜町、おおい町、福工大ほか</p>	<p>今後、具体的に調整</p> <p>伝統的民家のスマート改修</p> <p>低炭素型の中心市街地活性化</p>
2 環境負荷が少なく、元気な農業・漁業を展開	<p>オールシーズン園芸WG 県、高浜町、おおい町、関電</p> <p>※嶺南地域エコ園芸推進協議会(県園芸畜産課事務局)と連携</p>	<p>低炭素型漁業の振興</p>
3 交通弱者にも地球にもやさしく、便利な交通システムの確立	<p>オンデマンド交通WG 県、高浜町、東大、関電</p> <p>※福井クールアース次世代エネルギー産業化協議会(県地域産業・技術振興課事務局)と連携</p>	<p>地域に適したEV利用の推進</p>
4 地域に埋もれているエネルギーをおこして、まちおこしにも活用		<p>地域の再エネ資源発掘</p>
5 環境性能に優れ、緊急時にも対応できるエネルギーシステムの構築	<p>エネルギーシステムWG 県、高浜町、おおい町、福大、関電</p>	<p>公共施設の低炭素化改修</p>
6 低炭素のまちづくりの自律的・自発的な推進を支える人と文化の育成		<p>地域に即した環境教育</p>

各WGの具体的課題

	WG/検討課題	H24年度の検討課題等
WG	進捗管理	低炭素まちづくり全体の進捗管理を行うとともに、必要に応じてWG間の調整を実施
	スマート暮らし	県事業を柱として、モデル家庭へのHEMS導入及びデータ収集・分析を実施。嶺南西部地域に即した無理のない低炭素型生活(=“スマート暮らし”)のスタイルを明らかにし、次年度以降の実証に繋げる。
	オールシーズン農業	ヒートポンプを活用した周年型園芸を推進。採算性確保の検証と施設園芸営農の担い手の育成を行う。
	オンデマンド交通	オンデマンドバスの本格運行を実施するとともに、地域特性に見合ったEVの活用など、交通分野における低炭素取組みを検討
	エネルギーシステム	再生可能エネルギーを備えた公共施設をモデル化し、シミュレーション等により平常時や非常時(自立運転時)における運用制御方法の検討・評価を実施
検討課題	伝統的民家	低炭素化を図りつつ、伝統的民家(町屋、農家、漁家等既築建築物)の活用を促進するための最適技術の適用実証や改修促進方策の検討等
	中心市街地	再生可能エネルギーや省エネ設備の導入等、低炭素技術を活かした宿泊施設等の活性化や、環境負荷が少なく、賑わいの創出につながる催事の開催
	低炭素型漁業	漁業における低炭素技術(BDF利用、陸電化、漁港への再エネ設備の設置等)の導入可能性検討
	EV利用	過疎化・高齢化が進む中山間地域におけるEV・PHV等の効果的な活用方策と導入普及策の検討
	再エネ発掘	地域に埋蔵している各種再生可能エネルギーの活用に向けた取組み
	公共施設	建替のタイミング等を捉えた公共施設への低炭素技術の導入。また、それに備えた最適技術の検討等
	環境教育	地元の文化・習慣を受け継ぎ、地域環境を大切にす人材を育成するための取組みを検討